

金星太陽面通過メキシコ観測隊来日 150 周年！

かわさき^{そら}宙と緑の科学館で メキシコデーを開催します！

明治7（1874）年12月9日、メキシコ観測隊が横浜で「金星太陽面通過」を観測しました。この歴史的な天文現象の観測成功から150周年を迎えることを記念して、川崎市青少年科学館（かわさき^{そら}宙と緑の科学館）では、メキシコ大使館と連携して、メキシコ・トレオン市プラネタリウムのスタッフによるメキシコの星空の解説や、文化交流ワークショップ等、様々なイベントを開催します。

～金星太陽面通過とは～

地球と太陽の間を金星が横切り、太陽面上を金星が通過して見える現象。当時は太陽系の天体の正確な距離が分からず、その基本となる地球と太陽の距離を測定するため、地球上の異なる地点から同時に観測が行われました。

この歴史的観測から100周年となる昭和49(1974)年に、観測地である横浜市に記念碑が設立され、その後この記念碑は令和4(2022)年に日本天文学会から日本天文遺産に認定されました。この記念碑設立と天文遺産認定には、川崎天文同好会が尽力されました。

川崎市青少年科学館は、川崎天文同好会をはじめとした天文愛好者からのプラネタリウム建設を求める声がきっかけとなり誕生しました。

1 開催日 令和6年12月8日（日）

2 場所 かわさき^{そら}宙と緑の科学館（川崎市多摩区枅形7-1-2）

3 イベント内容

（1）プラネタリウムでのトークショー

メキシコ・トレオン市プラネタリウムのスタッフを招いて、プラネタリウムドーム内で、メキシコの星空、今年4月にメキシコで観測された皆既日食、150年前の金星太陽面通過等についてお話しいたします（逐次通訳あり）。

ア 開催時間 15:00～15:45

イ 対象・定員 どなたでも 定員 200名

ウ 参加費 無料

エ 申込方法 当日先着順（9:30から整理券を配付）

※開始5分前または定員になり次第配付終了

(2) 文化交流

ワークショップやスペイン語ミニ講座を通じて、メキシコの文化を体験します。

- ア 10:30~11:10 SDGs ワークショップ
「循環経済を知ろう！古布コースター作り」
※対象：8歳以上（親子での参加可）
- イ 11:30~12:15 スペイン語ミニ講座
「スペイン語でプラネタリウムを知ろう！」
※対象：4歳以上（親子での参加可）
- ウ 13:00~13:30 サステナブルワークショップ
「古物でメキシコ人形 Lele を作ろう！」
※対象：5歳以上（親子での参加可）

いずれも科学館2階学習室で開催します。

※参加無料。事前申込み不要（会場にて随時受付）

※ア、ウは材料がなくなり次第終了



トレオン市プラネタリウム
理事長
エデュアルド・エルナンデス氏



トレオン市プラネタリウム
館長
アントニオ・パウティスタ氏



ワークショップの様子
(イメージ)



メキシコの人形
Lele

問合せ先 川崎市教育委員会青少年科学館 久保
電話 044-922-4731